

朝来市旧生野鉱山職員宿舎 概要

1. 所在地

兵庫県朝来市生野町口銀谷697番地1

2. 建物概要

生野に数多く建てられた鉱山職員の官舎（官営時代に建設された住宅）及び、社宅（三菱へ鉱山が移行した後の総称）のなかでも、今回オープンする旧生野鉱山職員宿舎（通称；甲社宅）は、建設年も古く、町民に親しまれてきた建物である。ピーク時には18棟現存していたが、順次建て替えや取り壊しが続き、確認されたものとしては6棟6戸が現存するのみとなっている。生野町口銀谷にある甲社宅7号、8号、9号の建設年は官営時代の明治9年といわれており、19号は、明治29年以前という建設年代が確認されている。日本国内に残存する官舎及び社宅としてはいずれも最古級の建物であり、近代鉱山開発の生活面を体現する建物であることにおいて、近代を象徴する貴重な産業遺産であり、建築史、住宅史上きわめて稀少であり、重要な価値を有する建物である。（甲社宅7号、8号、9号、19号は、朝来市指定文化財）

社宅概要

甲7号 木造平家建（99.58㎡） 1（志村喬記念館）

甲8号 木造平家建（87.39㎡）（甲社宅の歴史等の展示）

甲9号 木造平家建（94.02㎡）（鉱山生活品の展示）

甲19号 木造平家建（96.00㎡）（鉱山生活品の展示）

管理棟 木造平家建（72.53㎡）（喫茶コーナー・グッズの販売）

軽量鉄骨2階建（104.08㎡（1階54.39㎡ 2階49.69㎡））

敷地面積 2,656.55㎡（公園部分も含む）

1 志村喬記念館

同所が生誕地である黒澤映画には欠かせない名俳優志村喬。甲7号を「志村喬記念館」として、志村喬が幼少期生野で暮らしていた頃の写真、映画出演記録、遺品等の展示を行う。

本年度、監督黒澤明生誕100年のイベントが全国各所で展開されている。その1つに日本映画チャンネル（朝来市CATV有料チャンネル）において、9月25日午後から「24時間まるごと志村喬」を放送予定。代表作「生きる」等9作品（別紙チラシ）

3. 施設利用

- ・開館時間 午前9時から午後5時まで
- ・入場料 無料
- ・休館日 毎週月曜日（ただし休日の場合は、翌日）、年末年始
- ・電話 FAX 079-670-5005

4. 指定管理者

- ・甲社宅運営委員会